

前日の台風にも負けず盛大に開催 竜丘市民運動会



樽に替えての缶転がし

同じく採点種目の「素敵なカップ」

運動会は、前日の会場準備から本格的な作業が始まりましたが、今年台風の影響で開催が心配されましたが、体育委員の皆さんを始め、多くの関係者の努力で無事開催することができました。

十月十日(日)、竜丘小学校グラウンドで市民運動会が開催されました。前日の台風二十二号の大雨の影響で開催が心配されましたが、体育委員の皆さんを始め、多くの関係者の努力で無事開催することができました。

運動会当日はNTTドッジボール大会が開催される日でもありません。竜丘小学校はドッジボールが盛んで、クラスや学年でチームを作り、NTTの大会やJAの大会に出場しています。しかし、NTT大会の女子の部が、たまたま市民運動会と重なってしまっただけで、どちらに参加するか悩みがあつたことと、聖火リレーの中心となる六年生は、市民運動会へ出ることもありませんでした。子どもたちの地域活動への参加は、本当にうれしく頼もしいことだと感じました。



早く早く！ 竜丘ウェーブ

午前中最後の「オールスターリレー」は、各分館を代表する草花の皆さんが素晴らしい走りを見せてくれました。リレーの前半は年齢、性別によって走る順番が決まっていますが、後半は分館の自由ということになり、最終走者まで順位が判りにくくなっているのです。



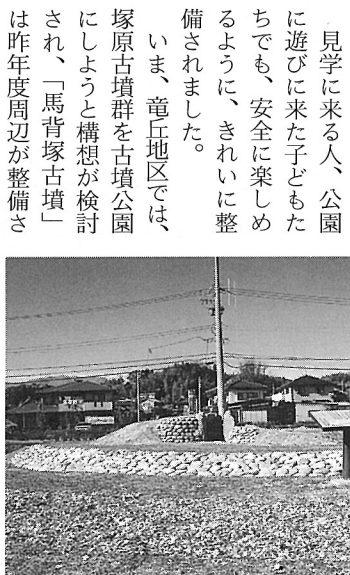
取りで放流されたのはフナ千五百匹余とウナギ八匹です。最初は手づかみで、その後、ザル、バケツ、網を使って取りました。魚も必死で逃げるの

が、抜きつ抜かれつ白熱したレースでした。最後の種目の「年次むかでも、チーム全員の気持ち揃って早く走ることは難しいものです。女子の部一位の上川路、男子の部一位の長野原分館はとも思のあったいい走りを見せられました。

分館の最終順位は、優勝が桐林。以下、二位長野原三位上川路、四位時又、五位駄科という結果でした。

復元された地域の想い 「大座2号古墳」竣工

大座2号古墳の移築復元が完成しました。JR時又駅南の踏切付近にありましたが、治水対策事業で整備区域になったために、平成十四年度に発掘調査が行われ、特徴ある石室が明らかになり、見学会や説明会も行われたので、記憶に新しいことです。この貴重な地域の財産をぜひ移築して残したいと地域で市に要望を出し、古墳



りには木のチップが敷かれ、説明板も設置されました。見学に来る人、公園に遊びに来た子どもたちでも、安全に楽しめるように、きれいに整備されました。

「さかなつかみに大賑い」
秋晴れに恵まれた九月十二日(日)に、竜丘水辺の楽校で自然体験交流イベントが行われ、親子連れなど約二百人以上の皆さんが参加しました。



和気あいあいの秋まつり

「世界の子どもが、お金の地位を求めますか。戦争を求めますか。子どもたちが求めているのは、親や回りの大人たちからの優しさや愛です。優しさや愛を与える、こんな簡単なことが、今なぜできないのでしょうか。どの子どもがこんな哀しい世界に生まれたかったでしょうか」最近心に響いた言葉である。

地区がひとつに盛り上がる！ 上川路 秋まつり

上川路秋まつりが、十一月三日(水)、ぬけるような秋晴れのした、上川路公民館を会場に行なわれました。

分館が中心となり、各種団体が実行委員会を組織し毎年行なわれています。今年で、第十四回を数え、地区をあげての、秋の恒例行事となっています。

ヤブウ

世界の地震の約一割が、日本列島近辺で発生するといわれるくらい、日本は地震列島である。新潟県中越地震では、今も尚多くの人が避難生活を送っている。道路や情報網が至る所寸断され、甚大な被害が確認されるまで時間がかかり、陸の孤島となった地域もあった。阪神大震災とは異なり中山間地域特有の被害が多く見られ、大自然に対し人間の力はいかに無力か改めて思い知った。その中で、懸命の救助で小さな命が助かったり、ボランティアの活躍など心温まる話も聞かれた。被災地の一刻も早い復旧を心から願う。

充実した展示と催し 賑わった竜丘地区文化祭

秋色がしだいに濃くなった、十一月十三・十四日の両日、平成十六年度の竜丘地区文化祭が竜丘公民館で開催されました。特別企画展や盛り沢山の展示・催しが行われ、多くの地区住民が訪れて賑わいました。



竜丘の自由教育を総括した企画展

当日は、公民館玄関で開会のセレモニーが行われ、参加団体を代表して五人の方がテープカットをし、文化祭が開幕しました。館内には、各種団体やグループの日頃の活動成果など様々な展示品が、ホールをはじめとして各部屋、廊下まで所狭しと飾られ、その一つひとつが創意工夫の詰まった力作が紹介され、絵入りで描かれた学校史、北原白秋や山本鼎ら文化人との交流を示す貴重な書簡なども展示されて、訪れた人たちの注目を集めました。また、五月にNHK「そのとき歴史が動いた」で放映された映像

白井川秘境の遊歩道整備と塚原古墳群の公園化の取り組みを紹介していました。今回は、例年に比して各種団体の参加が多く、しかも工夫した内容や展示などがみられ、大変好評でした。催し物も多彩に行われ、子どもたちに大人気の財産区のクラフト工芸や茶道教室の茶会コーナー、喫茶軽食コーナーは好評で終日賑わいをみせていました。また、屋外ではスポーツ祭が行われベタンクを

み、餅＆宝投げでは大きな歓声が響いていました。訪れた人たちは思い思いに展示や催しを楽しみ、ふれあいをした素晴らしい文化祭となりました。

セミのぬけがら 数あてクイズ 答え1,193

文化祭二日間の投票総数は二百七名でした。ピタリ賞は無く、チカイデ賞は七つ違いの次の十二名の方でした。(駄科)伊藤瑞菜、増田志保子、桐生澁太(長野原)大平敏司、高畑貴子、田中みどり(時又)林佳奈(上川路)塚平聡、金子隆一、塚平真弓(桐林)久保田茶如、原豊子以上の皆さんです。



民俗資料保存委員会の藁仕事展

多くの受講者であふれた 市民大学講座を ふりかえる

市民大学講座は、去る十一月十日(水)に開かれた第四講をもって、今年度予定していたすべての講座が終了し、のべ五百名を越える方が熱心に講義を受けました。

第一講は、九月二十四日

(金)竜丘公民館ホールを会場に、自治協議会と共催で開かれました。先ごろ行われた飯田市長選を前に、立候補を予定している四氏から、見識や飯田への思いを聞く学習会でした。

第二講は、九月二十六日

(日)少し曇った天気の中、里山のふれあいの一環として、里山に集いピザ焼き石窯作りが行なわれました。最初に財産区の皆さんの



第三講 熱心に話を聞く参加者

ひのきの皮をめくり、石窯の屋根葺きをする為、おもしろい皮を伸ばしました。最後に、石窯の廻りにひのきの柱を四本建て、又、雨しのぎの屋根をかけて終了しました。

だ関島氏の話しを聞き、公民館を通じて今も残る自主性を重んじた文化活動の大切さを、多くの受講者が学びました。関島さんは、木下紫水先生の指導で特に印象深かったのが「自分で見て、考えて書く」習い方で、上手下手等は全く言いませんでした。専ら自分の目で見たと通りに、又思った通りにありのままに表せたかを見られたいので、子ども心にも張り合いが出たと話され、信州の自由教育には優れた先生と文化があっただけでなく「信州のおおらかで厳しく美しい自然が、文化を育んできた」と感じると最後に語られました。竜丘自由教育の素晴らしさを、肌で感じられた講演会となりました。

接戦、接戦 分館の団結が感じられた 竜丘ソフトボール大会

台風や新潟中越地震の影響も心配される中、小春日和にも恵まれた十月三十一日(日)に、竜丘ソフトボール大会が行われました。開会式では、木下公民館長が「しっかり筋肉をほぐし、日頃の運動不足の解消と、近隣地区民との交流を図って下さい。」とあいさつしました。また昨年度優勝の男子長野原三番組と女子駄科下平北によるトロフィー返還、駄科の牧野さんの力強い選手宣誓が行われ試合へと進められて行きました。初戦から白熱の一対一の惜しい試合が多々ありました。

結果 勝④駄科・南平 優 勝④駄科・南平 結 準優勝④桐林・安城 ④桐林・安城



第二講 里山の石窯づくりの様子

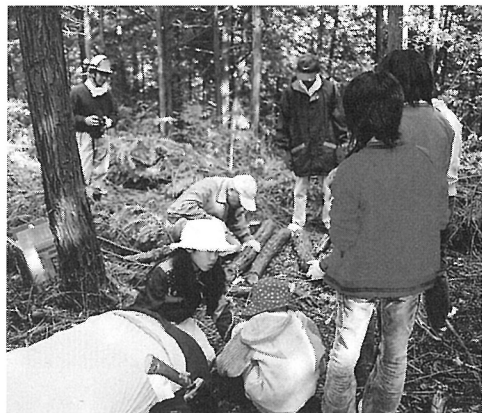


接戦、接戦 分館の団結が感じられた 竜丘ソフトボール大会

森の宝物を発見!! 親子ふれあいハイキング

親子ふれあいハイキングが、十一月六日(土)財産区有林の里山へのコースで行われました。オムロン駐車場から伊賀良との境の山頂まで、約三キロのコースを思い思いの話をしながら歩いて行きました。今回は親子で七十余名の参加者があり、里山にふれあう機会となりました。

まず、林務課の松本さんから、山の働きや里山の役割、今年多い熊出没の原因などについて話を聞きました。その後は、枝打ち作業、まき割り・薪集め作業



親子ふれあいハイキングの様子

森の作業をする中で、枝打ち作業は、木の価値を確保する役割や病気や虫食いを防ぐ役割、太陽の光を地面まで届きやすくし、草などが生えやすくなる役割、また、林の中を歩きやすくする役割など手入れの大切さがわかりました。昼食は里山に作られた石窯でパンやピザを焼き、豚焼きやきのこ汁など山の幸を皆でおいしくいただきました。昼食後の自然散策で

最後のネイチャーゲームは「チーム毎に分かれてフィールドビンゴ、里山の宝物を探そう」と題して、幹の様子や里山のいい匂い、動物がいた証拠などの「宝物」を発見しながら楽しく散策しました。ゲームの終わりには、い

つもの里山の静けさを感じるため、皆で目を閉じて耳を澄ました。鳥の鳴き声、森のざわめき、風のうなりなどを感じ、普段の生活では味わうことができない自然とのふれあいができました。